

## 中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	経済産業省の役割と職員の業務
調査日	2021年11月22日(月) 15:00~17:30
調査先	経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 総括補佐 荒井次郎 氏 大臣官房福島復興推進グループ総合調整室(兼)内閣府 原子力被災者生活支 チーム 参事官補佐 高橋拓磨 氏
担当教員身分・氏名	教授 国松麻季
授業科目/学部企画名	調査訪問(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1・2年生 20名
調査趣旨・目的	経済産業省の全体像、お2人のキャリア、最近の課題や取り組み、職員の業務 などにつきご説明を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	<p>荒井総括補佐より経済産業省の全体像を伺ったのち、お二人よりそれぞれ入 省以来取り組まれてきた業務の内容、心掛けてきた点、現在や将来の想いなど についてプレゼンテーションをしていただき、そのなかで、事前学習の際に学生 が持った疑問点にもお答えいただいた。後半は2グループに分かれて学生から の質問に答えていただいた。</p> <p>前半のプレゼンテーションでは、2、3年ごとの人事異動、省内や産業界とのネ ットワークの形成、「脱炭素化」や「空飛ぶタクシー」などの個別事項など多くの点 が学生の関心を刺激した。</p> <p>グループでの質疑応答では、学生生活に関わることやお2人の業務、またキャ リア形成など幅広い質問に対して真摯にご回答いただいた。それに加え、仕事 のうえでのモチベーション、新しく出会う方との関係構築、就職先の検討にあたっ てのアドバイスなど、話題は多岐に渡り、学生に大きな刺激を与えた。</p> <p>ご対応いただいたお二人より、熱心な学生の態度を評価いただくとともに、今 後も質問があれば遠慮なくお受けしたいとの有難いお申し出をいただいている。 また、学生の事後レポートから、今回の訪問が修学のうえでも、進路を検討する うえでも大きな刺激になっていることが把握された。</p>

ご対応者のお二人(左 荒井氏、右 高橋氏)



前半プレゼンテーションのようす



グループに分かれての質疑応答(荒井氏)



グループに分かれての質疑応答(高橋氏)



中央のCのマークとともに記念撮影

